

夏の支部教研に
参加を
案内は裏面を

北多摩東ニュース

2025 年
第 6 号

都教組北多摩東支部
電話 (042) 384・2941
FAX (042) 384・7904
kita-higasi@mvc.biglobe.ne.jp

暮らしと教育を守る2つの要求署名

①東京都人事委員会への要請署名 (レモン色の署名)

都で働く職員の賃金と労働条件改善を求める

#全職員の賃上げを #60歳以上の賃金削減やめて

#ハラスメントをなくそう

②文科省への教育予算要求署名 (えがお署名)

教育予算増額、長時間労働改善・保護者の負担軽減を求める

#正規教職員の増員 #授業持ち時数の削減 #少人数学級を即時実施

1学期に取り組んできた二つの全教職員署名。集約日がせまってきたいます。

①東京都人事委員会への要請署名(クリーム色の署名)

都職員の賃金は、東京都で働く職員の労働組合で構成する都労連と東京都との労使交渉を経て決定されます。

交渉のもととなる「人事委員会」の勧告に職場の声を反映させるために大切な全教職員署名です。

急激な物価高騰で生活の厳しさが増しているなかで、都民のいのちくらし、学びを守るために奮闘している教職員が安心して仕事ができるよう、全ての教職員の生活と労働条件につながる勧告が必要です。

この署名は、勧告作業が本格化する7月に人事委員会に私たちの代表が手渡しします。

②文科省への教育予算要求署名(えがお署名)

教職員の未配置が全国に広がり「教育に穴があく」深刻な事態が続いています。精神疾患による休職も過去最高を更新しています。

国会では、給特法の教職調整手当を現行の3%から10%に段階的に引き上げる改定案が可決されました。しかし「定額働かせ放題」のしくみはそのままです。

全教の調査では、教職員の長時間労働平均は、1ヶ月92時間を超えています。これらを解決するために、教職員定数を増やすこととです。義務・高校標準法改正し定数改善計画の策定をすることです。国の来年度予算案は夏につくられま

この全国署名は、7月下旬の全労連の中央行動の際に文科省に提出する予定です。

都教組サポート (TUS) 募金のお願い

都教組は、組合員だけでなく組合に加入していない教職員や退職者の皆さんも含めて、子どもと教育、教職員、平和を守るさまざまな運動をすすめ、要求を実現させるために都教組サポート募金(TUS募金)を一時金の時期にお願いしています。集まった募金は、支部、地区協、本部で教育運動、要求実現の運動に活用します。

職場に封筒とお願いの手紙を送っています。振り込みもできます。ご理解ご協力をお願いします。